

薬剤部

薬剤部長 志村 章

〔平成29年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の課題に対する目標
適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。

1 業務体制

(1) 業務内容

○調剤室業務	外来・入院調剤、院外処方箋監査・発行、 外来・入院癌化学療法調製、注射箋調剤
○倉庫室業務	注射・外用薬定時払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋用薬剤払出
○製剤室業務	T P N調製、院内製剤調製
○医薬品管理業務	麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、 一般薬管理、マスタ管理業務
○夜間救急診療業務	採用医薬品管理
○D I業務	医薬品情報の管理・提供、副作用の報告
○病棟業務	病棟薬品管理、服薬指導、病棟薬剤業務
○外来業務	医薬品管理、外来患者服薬指導
○研修対応業務	院内研修会、院外研修会
○委員会業務	薬事委員会、治験審査委員会、化学療法委員会
○事務業務	庶務

(2) 業務スタッフ

常勤薬剤師 17 名，非常勤薬剤師 7 名，非常勤助手 3 名

2 業務実績

① 薬剤管理指導（表1）

	合計	3 F	4 F	5 F	6 F	7 F	ICU	GCU	NICU
平成27年度	8,968	894	1,925	1,966	1,676	1,763	533	193	18
平成28年度	9,951	1,961	1,789	2,148	1,876	1,590	383	189	15
平成29年度	10,797	2,188	1,850	1,967	1,849	2,007	340	230	366

② 院外処方箋発行率（表 2）

	発行率	合計	院外	院内
平成 27 年度	95.2%	50,460	48,061	2,399
平成 28 年度	95.5%	46,884	43,127	2,115
平成 29 年度	95.9%	46,074	44,169	1,905

③ TPN、外来・入院化学療法の無菌調製（表 3）

	TPN 調製件数	癌化学療法注射箋件数
平成 27 年度	114	1,699
平成 28 年度	44	1,666
平成 29 年度	18	1,543

④ 病棟薬剤業務実施加算（表 4）

	合計	3 F	4 F	5 F	6 F	7 F	ICU	GCU	NICU
平成 27 年度	14,011	2,694	2,154	2,397	2,322	2,235	785	626	798
平成 28 年度	12,884	2,796	1,921	2,208	2,251	1,815	607	429	857
平成 29 年度	13,455	3,045	2,004	2,389	2,430	1,709	552	385	941

3 1年間の経過と今後の目標

薬剤管理指導については、表 1 のとおり、平成 27 年度 8,968 件、平成 28 年度 9,951 件、平成 29 年度 10,797 件であった。平成 27 年度から平成 28 年度は約 11%の増加であった。平成 29 年度は約 8.5%の増加にとどまったが、月平均は約 900 件となった。

院外処方箋発行率は、表 2 のとおり、平成 27 年度から平成 28 年度は 0.3 ポイントの増加であったが、平成 29 年度は更に 0.4 ポイント増加し 95.9%になった。

TPN や入院・外来癌化学療法の無菌調製については、表 3 のとおりだった。TPN 調製は、依頼件数のあった月が 3 カ月のみであり、18 件に減少した。癌化学療法の無菌調製件数は、平成 28 年度では外来 1452 件・入院 204 件であったが、平成 29 年度では外来 1287 件・入院 256 件となった。外来件数は 165 件の減、入院件数は 52 件の増、全体として 7.4 ポイントの減少となった。

平成 29 年度は、病棟業務の内容を看護部と調整し見直した結果、病棟業務の向上に繋がった。また、新生児科病棟の対象拡大により、服薬指導件数が昨年を上回ることが出来た。外来では妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師による相談業務を開始した。後発医薬品は、401 品目になり DPC の後発医薬品指数も 86%を超えている。

今後の目標としては、適正な人員・業務配置を行うことにより各業務の効率化を図り、病棟活動では服薬指導対象の見直しを行い、外来活動では入院前指導や薬薬連携等の拡大に取り組みたい。更に個人のレベルアップを図り、質の高い介入を目指し、患者の気持ちに寄り添い安心して信頼される薬剤業務を遂行していきたい。

〈資格修得〉

がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	2名
感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）	6名
栄養サポートチーム専門療法士（日本静脈経腸栄養学会）	3名
研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	9名
生涯研修履修認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	2名
生涯研修認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	7名
東邦大学薬学部認定薬剤師	1名
日本DMAT隊員	1名
スポーツファーマシスト	2名
千葉県糖尿病療養指導士	1名
サプリメントアドバイザー	1名